

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年4月27日時点)

➤ **ウクライナ軍が南部及び東部の露軍への抵抗を継続するとともに反転攻勢に向けた準備を進める一方、露軍は東部における占領地拡大に向けた作戦や各地の非軍事施設に対する攻撃を継続している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約6万~7万人 (CSIS2月27日)

: 死傷者約18万人 (クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)

「ウ」軍: 死者最大約1万3千人 (ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)

: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: 死者8490人以上、負傷者1万4,244人以上 (OHCHR4月10日)

- 4月18日、ドイツ政府は、ミサイルを含むペトリオット防空ミサイルシステムをウクライナに引き渡した旨発表
- 4月19日、米国防省は、HIMARS用の追加砲弾や小火器用弾薬等、ウクライナへの26億ドル相当の追加軍事支援を発表
- 4月20日、デンマーク国防省は、オランダと共同でレオパルト2A4×14両を購入し、24年初頭から引き渡す予定と発表
- 4月25日、フォンデアライエン欧州委員会委員長は、EUがウクライナに対し、15億ユーロのマクロ財政支援を拠出したと発表

- ロシア国防省は、20日に自軍のSu-34戦闘爆撃機が誤ってベルゴロド市内に爆弾を投下した旨発表 (4月21日)

- 「ウ」大統領府長官は、ロシア軍がS-300を用いてハルキウ州クピャンスクを攻撃し、少なくとも5人が負傷、博物館が損壊したと発表 (4月25日)

- シルスキー「ウ」陸軍司令官は、バフムの前線を視察し、指揮官らと面会した旨発表 (4月23日)

- 露国防省は、バフム市西部の半分を解放した旨発表 (4月22日)

- ゼレンスキー大統領は、ドネツク州アウジーイウカの前線を視察し、作戦・戦術群「ドネツク」司令官から戦況に関する報告を聴取。大統領は、海軍歩兵や空挺兵らに勲章を授与 (4月18日)

- 「ウ」軍南部作戦コマンド報道官は、ヘルソン州のドニプロ川東岸に「ウ」軍が上陸作戦を実施しているとの情報に関し、情報保全の観点から沈黙を求めると発言 (4月23日)

- ロシア国防省は、「ウ」軍が小型の無人船3隻を用いて露黒海艦隊の拠点セヴァストーポリ湾への攻撃を試みたものの、これを阻止したと発表 (4月24日)

- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☁ ウクライナ軍が奪還した地域



国土地理院標準地図を加工 資料源:ウクライナ政府機関ウェブサイト、ISW等